第65号
2025年12月

ゆいまぁる通信

「ゆいまぁる」とは
沖縄の方言で
「助け合い」の意味

今年もやったよ！さつまいもほり

10月4日土曜日、恒例の「ゆいまぁる芋ほりイベント」を開催いたしました。天気が心配されましたが、当日はさわやかな秋晴れとなりました。

笠松農園（無人販売）の篠宮さんが、今年は「紅あづま」「シルクスイート」「紅はるか」の3種を植えて下さっていました。

例年より早い9時開始でしたが、近所の元気な子供たちが沢山集まってくれ『うんとこしょ』と大小のお芋を掘って満面の笑み。

沢山掘れたので、あちこちにおすそ分けもしました。

秋の味覚にさつま芋は欠かせません！

ゆいまぁるカフェ

自己紹介、しりとり、絵本の朗読、体操、歌、健康の話、コーヒータイム、：これらは全てゆいまぁるカフェの内容です。

みなさんは「ゆいまぁるカフェ」に参加したことはありますか？どんなイメージをお持ちでしょうか？

毎月第四土曜日（8.12月除く）に開催していますが、その時の参加者さんの得意なことを話して頂いたり、地域の情報を共有したりしています。

担当としての最近の心配は、参加者さんが減っていること。ぜひみなさんいらしてください。おしゃべりを楽しみましょう！！

ゆいまぁるカフェのご案内
毎月第4土曜日　10時～12時
場所　南沢デイルーム
参加費　200円

職員リレートーク（お題は旅）

母と私の御朱印めぐり

ケアマネ　Kさん

昨年4月に開始した母との「東京十社めぐり」を今年11月についに制覇しました。

「東京十社」には由来があり、かつて明治天皇が東京の鎮護と万人の安泰を祈る神社として制定したそうです。

厳かな社殿に手を合わせる度に気持ちがスッキリしてリフレッシュ！。そして下町情緒溢れる参道での買い物や食べ歩きは昔ながらの良さを感じました。

2年越しの御朱印集めは母との思い出の一つになり、次は何処をめぐろうか二人で模索中です。

📌次回はヘルパーステーションのSさんです。

ゆいまぁる通信の題字は、はちまんの元ご利用者Wさんから頂きました

正会員75名　賛助会員29名　利用者346名
（2025年11月30日現在）

特定非営利活動法人　地域ケアネットワークゆいまぁる

〒203-0023　東久留米市南沢2-13-11
TEL：042-479-5772　／　Fax：042-479-2337
ホームページ：https:www.yuimarlu.jp/

NPO 地域ケアネットワーク ゆいまぁる

発行責任者：理事長　平塚　小百合

ゆいまぁるの活動をご支援いただける方からのご寄付をお願いしております。HPからのお申し出も承っておりますので、よろしくお願いいたします。

編集後記

11月の暖かい日、自転車の掃除をしました。雨合羽にビニール手袋を装着し作業開始。最初は一番汚れているチェーン周り。その後はフレーム・タイヤなど、とにかく丸ごと洗います。仕上げにフレームを磨き、チェーンに油をさしたら終了。なかなかな作業量をですが、ピカピカになった自転車を見たらそんなこと吹っ飛びます。特にピカピカのチェーンを見るのが嬉しくてたまりません。チェーンがきれいになるとペダルも軽くなるのでチェーン掃除、お勧めです。

今の自転車とは9年の付き合いです。これからもこの自転車と共にいろいろなところに行きたいと思っているので、これからも点検や手入れをしながら大事に使っていきたいと思います。

たゆたえども沈まず

理事長　平塚小百合

みなさま、新年を迎えるこの時期はおのずと今年1年を振返り新しい年に思いをはせていらっしゃることと思います。さて、ゆいまぁるの場合はどうだったでしょう。

ゆいまぁるの今年は、航海に例えるならば、荒波に揉まれ、岩礁に乗り上げ、あるいは航海図を見失ってしまいそうになるような1年だったと言えるかもしれません。

今年の通信「夏の号」でもお伝えいたしましたが、春に『カフェ笠松』を閉じ、6月末で『配食事業』を終了いたしました。それは、地域ケアネットワークとして活動してきたゆいまぁるにとりましてはとても大変な決断でしたし、地域のみなさま、職員にとっても大きな影響をもたらしました。

その後も、諸物価高騰や介護保険制度を取り巻く社会情勢の変化などの影響を受け、ゆいまぁるの事業はかなり厳しい状況が続いております。想定外の経営状況に途方に暮れそうにもなりましたし、収支改善のために職員にも負担をかけております。

ところが、苦しい状況の中でもがいているときに、職員からは「自分たちにできることを必死にやるのみ！」との力強い言葉をもらい、何人もの正会員・賛助会員の方からは「ゆいまぁるはこの地に必要です」など温かい励ましのお言葉や心のこもったご寄付を頂きました。また、市内のいくつかの介護保険の事業所が「共に頑張ろう」「力になるよ」と相談に乗って下さっています。こんなに心強くありがたいことがあるでしょうか。

ゆいまぁるが25年間この地でやってきたことが、職員や会員のみなさま、さらには介護事業所のなかまの方々からの温かい激励を頂くことに繋がっていることに気づき、私たちは再び航海図を広げました。

ゆいまぁるは今なお荒海で揺られながら航海中です。けれども私は、みなさまが灯台となりあるいは曳航してくださることで、職員が一丸となって舟を漕ぎ出せば、今はどんなに荒波に揉まれていようとも「たゆたえども沈まず」の思いです。

私たちが今やるべきことは何か、私たちが大切にしていることは何なのか、私たちはどうありたいのか、今後どのように事業展開していけばよいのか、何を変えていかなければならないか、など改めて模索しております。

新しい年になれば、新たな波が待ち受けているのかもしれません。けれども、職員の叡智をもって変化を恐れず前に進んでいきたい。そして沈まぬことで、今の苦しい状況を支え応援してくださっているみなさまへ将来また恩返しをしていきたいと思っております。

ゆいまぁるが2026年も「たゆたえども沈まず」航海をしていかれますよう、みなさまのご理解・ご支援をどうぞよろしくお願い致します。

臨時総会報告

2025年　10月24日　17時30分～
ゆいまぁる南沢デイルームにて臨時総会が行われました。

正会員16名の出席、16名の委任状、22名の書面決議により臨時総会は成立し、議論ののち議案は可決されました。

議案は「役員報酬の変更」で、提案理由は今年度の経営悪化に伴う、理事長役員報酬の全額カットです。併せて顧問税理士より、ここ数年の経営状況などの補足説明がありました。

書面決議では責任を持ってもらうためにも報酬をいくらか残すべきでは、というご意見もありました。また、出席会員の方からは、ゆいまぁるへの協力を惜しまない、との温かい励ましのお言葉も頂きました。